

# 平成27年度全国学力・学習状況調査結果の 分析および考察

彦根市教育委員会

## 全国学力・学習状況調査のねらい

全国的な児童生徒の学力や、学習状況を把握分析するとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況等の改善に役立っています。

## 平成27年度の実施状況

- ・実施日 平成27年4月21日（火）
- ・実施学年 小学校6年生、中学校3年生
- ・実施教科等 国語、算数・数学、理科  
他に、児童生徒質問紙

市内の全小中学校（小学校17校、中学校7校）の全児童生徒を調査

## 調査の特徴

- A 問題・・・「実生活において大切に常に活用できるようになっていることが望ましい知識や技能が身についているかを見ます。」  
→知識
- B 問題・・・「知識や技能を生活の場面で活用したり、課題解決のために構想を立てて実践し評価・改善したりする力がついていないかを見ます。」 →活用
- 質問紙・・・学習意欲、学習方法、学習環境、生活などについて尋ねます。

## 彦根市の教科に関する調査結果

※調査の結果は、学力の特定の一部です。

○平均正答数(平均正答率)

| 教科等 | 国語    |                      | 算数・数学              |                      | 理科                  |                      |
|-----|-------|----------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
|     | A「知識」 | B「活用」                | A「知識」              | B「活用」                |                     |                      |
| 小学校 | 全国    | 9.8問/14問<br>(70.0%)  | 5.9問/9問<br>(65.4%) | 12.0問/16問<br>(75.2%) | 5.9問/13問<br>(45.0%) | 14.6問/24問<br>(60.8%) |
|     | 滋賀県   | 9.6問/14問<br>(68.6%)  | 5.7問/9問<br>(63.7%) | 11.6問/16問<br>(72.7%) | 5.6問/13問<br>(43.0%) | 13.9問/24問<br>(58.0%) |
|     | 彦根市   | 9.2問/14問<br>(66.0%)  | 5.6問/9問<br>(62.6%) | 11.3問/16問<br>(70.8%) | 5.4問/13問<br>(41.8%) | 14.0問/24問<br>(58.2%) |
| 中学校 | 全国    | 25.0問/33問<br>(75.8%) | 5.9問/9問<br>(65.8%) | 23.2問/36問<br>(64.4%) | 6.2問/15問<br>(41.6%) | 13.3問/25問<br>(53.0%) |
|     | 滋賀県   | 24.4問/33問<br>(74.1%) | 5.7問/9問<br>(63.8%) | 23.0問/36問<br>(63.8%) | 5.9問/15問<br>(39.2%) | 12.6問/25問<br>(50.3%) |
|     | 彦根市   | 24.1問/33問<br>(73.1%) | 5.6問/9問<br>(62.5%) | 22.9問/36問<br>(63.7%) | 5.9問/15問<br>(39.3%) | 12.7問/25問<br>(51.0%) |

今回の調査では、市全体の目標としていた全国平均正答率と同レベルの平均正答率が達成できませんでした。特に、小学校の国語・算数の主として知識を問う問題（A問題）で全国平均を4ポイント以上下回ったことが、大変大きな課題であると捉えています。今回の結果を厳しく受け止め、市全体としてそれぞれの学年で付けなければならない基礎的な力の確実な定着に重点を置いて取り組むとともに、知識や技能を活用した主体的・協同的な学びに取り組む力の育成をめざした授業改善を中心に、児童生徒の学力向上に向けた取組を一層推し進めます。

## 彦根市の全体的な傾向

### 国 語

平均正答率は、小学校、中学校とも国語の A 問題 B 問題で、全国平均を下回りました。

小学校、中学校とも漢字を正しく書くことに課題がありました。

また小学校では、新聞の制作の際、目的や意図に応じて記事に見出しを付けたり、内容を整理して書いたりすることに課題がありました。中学校では、表現の工夫について自分の考えをもつことや、文章の要旨を捉えたり、目的に応じて文章を要約したりすることに課題がありました。

また、昨年度と同様に小学校中学校とも問題形式が短答式、記述式の場合に無答率が全国を 1～2 ポイント上回ることも課題です。

### 算数・数学

平均正答率は、小学校中学校とも、A 問題 B 問題で、全国平均を下回りました。特に小学校の A 問題は、昨年度はやや改善が見られましたが、今年は全国との差が広がりました。

小学校では、小数の計算、円と二等辺三角形を関連付けて考えること、計算の見積もりなど、主として数と計算領域や図形領域の基礎的な学習内容の定着に課題がありました。

中学校では、「数と式」で事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明したり、予想した事柄を説明したりすることに課題がありました。

無答率は、中学校の B 問題において半数以上の問題で、全国を 3 ポイント以上上回っていることも課題です。

### 理 科

平均正答率は、小学校中学校とも、全国平均を下回りました。

小学校では、生物の養分の取り方についての分析や、実験器具や現象の名称等の理科的な用語の理解、観察した事実や情報から判断することに課題がありました。

中学校では、天気図の風力風向の読み取りや背骨のある動物の名称など、生物的、地学的領域に課題がありました。

無答率は小学校では全国と同程度でしたが、中学校ではテスト後半の記述式問題の無答率が全国より 5 ポイント以上高くなりました。





小学校・中学校とも正答や答えの間違い方（以下「解答類型」と記載）の傾向は全国とほぼ同じ傾向でした。

小学校では漢字を正しく書くこと（特に「鳥のすを観察する」ですを漢字で書く問題は全国平均正答率比 -10.3ポイント）について課題がありました。中学校においては語句の意味を理解し文脈のなかで適切につかうこと（「彼女は、学級の〔 〕の下の力持ちと言える存在だ」の〔 〕に入る語を選択する問題は全国平均正答率比 -15ポイント）に課題がありました。漢字についても語句についても、一度学習しただけでは、定着しません。文章を書いたり話したりするなど、自分の表現の中で活用することが大切です。そのためには、学習したことを日々の生活の中で活用する場面を設定することが求められます。

小学校で課題のあった、文の中で主語を捉えたり主語と述語の関係を捉えたりすること、目的に応じて中心となる語を捉えることは1年～4年の学習内容です。それぞれの学年で付けなければならない力を確実に身に付けさせるとともに、その後の学年で付けた力を活用し定着を図る学習を設定することが大切です。

また、小学校・中学校とも、先に例として掲載した問題のように、文章を読み、自分の考えを条件に合わせて記述することに課題がありました。

説明的な文章の学習では、日頃から図やグラフが添えられた文章を提示し、それらに関係づけて読んだり、自分の考えを書いたりする学習を意図的に行うことが必要です。その際は図やグラフがあることによってどのように文章がわかりやすくなっているのかなど、文章と図やグラフとの関係やその効果を捉えることができるようにすることが大切です。

文学的な文章の学習では、個々の場면을豊かに想像しながら読むことが、作品への理解を深め、読書の楽しさを広げることに繋がります。その際、文章の場面展開の工夫が作品のおもしろさとなっていることがあります。作品の全体像を捉えた上で、場面の役割等を考え、話し合うことで、自分の作品に対する分析がはっきりとしたものとなります。

文章を読み分析し自分の考えを確かにすることが、条件に合わせて自分の考えを書くことにつながります。そのため、読むことと書くことを関連させた学習活動が大切です。

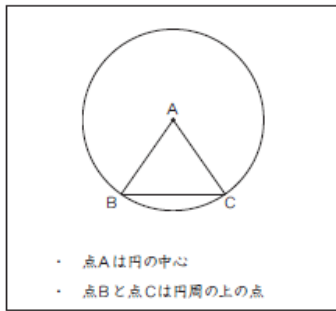
## よくできていた点

## 小学校

- 分度器を用いて 180 度より大きい角の大きさを求めること。

5

次の図のように、円を使ってかいた三角形ABCは、二等辺三角形になります。



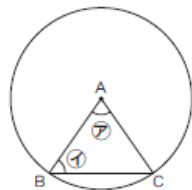
(1) 三角形ABCが二等辺三角形になるのは、円にどのような特徴があるからですか。

下の 1 から 4 までの中から最もふさわしいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 つの円の半径の長さは、どれも同じ長さになる。
- 円周の長さは、直径の長さの約 3.14 倍になる。
- 1 つの円の直径の長さは、半径の長さの 2 倍になる。
- 1 つの円の直径の長さは、円周上の 2 つの点を結ぶ直線の中でいちばん長い。

(2) 下の図の  $\angle A$  の角の大きさが  $70^\circ$  のとき、 $\angle B$  は何度ですか。

答えを書きましょう。



## 特に課題のみられる点

- 小数の減法で、計算結果のおよその大きさを捉えること。
- 小数の大きさを、単位となる小数が幾つ分かで表すこと。
- 小数の加法における計算の確かめ方法を理解すること。
- 末尾の位の揃っていない小数の減法の計算をすること。
- 異分母の分数の減法の計算をすること。
- 左のように二等辺三角形を、円の性質と関連付けて捉えること。
- 直方体の性質と、見取図や展開図から読み取れる情報を基に、展開図から直方体を構成すること。
- 平行四辺形の作図に用いられる図形の約束や性質を理解すること。
- 単位量あたりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を考えること。
- 示された値段の求め方から間違いを見つけ、正しい求め方を考えること。
- 日常生活の事象の解決に、概数や概算を活用して、目的に応じて合理的かつ能率的に判断すること。
- 算数の学習から見出した考えを、条件を変更した場面に活用すること。







小学校・中学校とも解答類型の傾向は、全国と同じ傾向でした。

小学校では小数の減法や、異分母の減法について課題がありました。小数の減法については、一昨年度から継続している課題であり、小学校4年生時点で、間違いやすいことを前提に丁寧な指導を行うとともに、家庭とも連携して学習内容の定着を図ることが必要です。

また、小数の減法で計算の結果のおよその大きさを捉えたり、単位となる小数で小数の大きさを表したり、小数の加法の計算を確かめたり、概数を用いたりする等、数と計算の領域で課題が多く見られました。図形の領域では、直方体の性質と、見取図や展開図から読み取れる情報を基に、展開図から直方体を構成することに課題がありました。これらは中学年での学習が基礎となったものです。

学習状況調査で「算数の勉強は大切だと思いますか」の問いに「当てはまる」と回答した児童の割合は全国平均を上回っていますが、「算数の勉強は好きですか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」という問いに「当てはまる」と回答した児童の割合は全国平均を4ポイント以上下回ります。

児童がもっている「算数の勉強は大切だ」という思いを生かし「算数の勉強が好きだ」という思いを育むために、前述の小数の減法など、小学校の中学年段階での算数指導で基礎的な内容の確実な習得を図る必要があります。中学年での指導の上に、高学年では前学年までの学習内容を振り返るとともに、その活用を図り、繰り返し定着を図ることが必要です。

中学校では、A問題の垂線の作図が図形の対称性を元に行われていることを考える問いで全国平均正答率を10.4ポイント下回りました。同一の問題が平成20年度に出題されており、全国的にも課題が大きい問題と言えますが、出題された問題で正答率が低かった問題については、力が充分定着しにくい傾向があると捉えて重点的に取り組むことが大切です。

B問題では、半数程度の問題で無答率が全国を5ポイント以上上回り、問いに対して最後まで、取り組めなかった状況が現れています。学習状況調査では、「最後まで問題を解こうと努力しましたか」という問いに「最後まで努力した」と回答した生徒は全国を6ポイント以上下回りました。

試行錯誤を繰り返しながら多様な考えを出し合うなど、個人や集団で考えを練り上げたり、表現したりする学習を多く取り入れ、課題解決に取り組む経験を多く積ませることが必要です。

# 理科

## よくできていた点

### 小学校

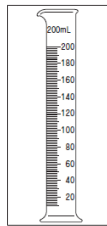
- 顕微鏡の名称を理解すること。

## 特に課題のみられる点

- 振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用すること。
- メダカの雄雌を見分ける方法を理解していること。
- 生物の成長に必要な養分の取り方について、調べた結果を視点をもって考察して分析すること。
- 植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述すること。
- 結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基に自分の考えを改善したりすること。
- 左のようにメスシリンダーの名称や使い方を理解していること。
- 実験結果のグラフを元に考察し、その内容を記述すること。
- 方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析すること。
- 水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解していること。

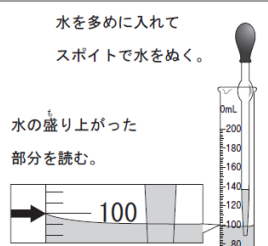
(4) としおさんは、砂糖水をつくるために、水 100 mL を右のような器具を使ってはかりとることにしました。としおさんが使った器具の名前を書きましょう。

(5) (4)の器具を使って水を正しくはかりとっているのはどれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

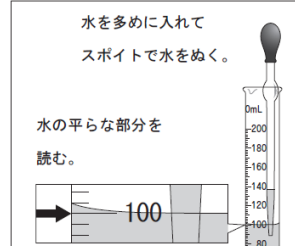


としおさんが使った器具

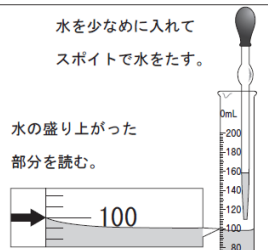
1



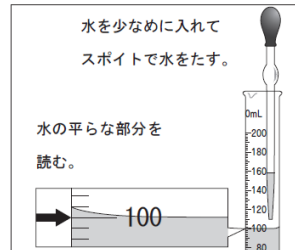
2



3



4



## よくできていた点


中学校

- スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明すること。

## 特に課題のみられる点

- 天気の記号から風力や風向を読み取り、風向計を使って風向を観測すること。
- 気圧の変化で菓子袋がふくらむことについてモデルを使った実験を計画すること。
- 凸レンズを使った実験の結果を分析し、規則性を指摘すること。
- 実験の結果を分析し解釈したり、実験の様子から適切な課題を設定すること。
- 背骨のある動物をセキツイ動物と表すこと。
- 下のように、他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な考察を記述すること。

8 健さんは飼育している数種類の魚を観察していたところ、季節によってえらぶたの動きに違いがあることに気づき、実験を行いました。  
(1)から(3)までの各問いに答えなさい。



**レポートの一部**

**【課題Ⅰ】**  
ハゼのえらぶたの開閉回数は、水温によってどのように変わるのだろうか。

**【方法】**

- ① ハゼを3匹用意する。
- ② 水温の条件を変え、それ以外の条件は同じにして、30秒間のえらぶたの開閉回数を数える(図1)。
- ③ 3匹の平均値を求める。

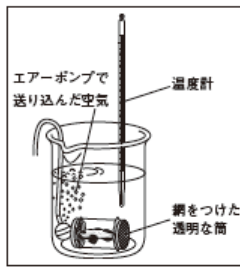


図1

**【結果】**

表1

| 水温  | 10℃ | 15℃ | 20℃ | 25℃ |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ハゼA | 7   | 14  | 28  | 42  |
| ハゼB | 7   | 20  | 32  | 38  |
| ハゼC | 11  | 18  | 36  | 48  |
| 平均値 | 8   | 17  | 32  | 43  |

**【考察】**  
【結果】の表1から、水温が10℃から25℃の範囲では、ハゼのえらぶたの開閉回数は、水温が高くなると増えると考えられる。

---

**レポートの続き**

**【課題Ⅱ】**  
ほかの種類魚でも、えらぶたの開閉回数は、水温が高くなると増えるのだろうか。

**【方法】**  
フナとナマズをそれぞれ3匹用意し、【課題Ⅰ】と同様に実験を行い、【課題Ⅰ】のハゼの【結果】と比較する。

**【結果】**

表2

| 水温  | 10℃ | 15℃ | 20℃ | 25℃ |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ハゼ  | 8   | 17  | 32  | 43  |
| フナ  | 36  | 42  | 52  | 57  |
| ナマズ | 28  | 32  | 44  | 65  |

※ 数値はそれぞれ3匹の平均値

**【考察】**  
【結果】の表2から、水温が10℃から25℃の範囲では、同じ水温でも、魚の種類によってえらぶたの開閉回数は異なると考えられる。

(3) 【考察】は、【課題Ⅱ】に対して適切とはいえません。【課題Ⅱ】に対して適切な【考察】となるように、下線を書き直しなさい。

(1) ハゼのように背骨のある動物を、背骨のない動物に対して何といいますか。その名称を書きなさい。

(2) 【方法】③で平均値を求める理由として最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア 水温によって、えらぶたの開閉回数異なるから。  
イ 測定する時間の長さによって、えらぶたの開閉回数異なるから。  
ウ 空気量によって、えらぶたの開閉回数異なるから。  
エ それぞれのハゼによって、えらぶたの開閉回数異なるから。

小学校・中学校とも解答類型の傾向は全国とほぼ同じ傾向でした。

小学校では学習指導要領による A 区分の物質の内容で水の温まり方や物の溶け方の規則性、B 区分の生命の内容で養分摂取や植物の成長の条件について課題がありました。また実験器具であるメスシリンダーの名称やその使い方の理解が不十分でした。

魚を育て観察することを通して、雌雄によるひれの形の違いに気付いたり、実験を計画する際に器具の名称を使って話し合い説明し合う学習活動を行ったりするなど、実際の実験や観察を通して知識の定着を図ることが大切です。

また、実験の際は予想を立て、実験結果と照らし合わせ、自分の予想が確認されたかを検討することが大切です。また予想が結果と一致しない場合には、予想を振り返り、見直し、再検討したり、他者の予想を振り返ったりすることで、自らの考えを修正し、結果から適切に考察する必要があります。

中学校においては、生物的領域と地学的領域の問いに対して正答率が低くなったり、無答率が高くなったりする課題がありました。

物理的分野や化学的分野と同様に、実験や観察を通して科学現象への理解を図ることが大切です。また、自然の事物や現象から問題を見出し、適切に課題づくりかできるようにすることが必要であり、生徒の多様な発想と主体性を高める学習活動を行う必要があります。

学習状況調査の理科に関する設問では、ほぼ全国と同様の回答傾向を示していますが、児童生徒とも「理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」の問いについて大きな違いが見られました。週 1 回以上と回答した児童は 23.9 ポイントで全国を 20 ポイント以上下回り、週 1 回以上と回答した生徒は 26.8 ポイントで全国を 10 ポイント以上下回りました。

理科では観察や実験を通して知識の定着を図ることを大事にしているため、観察や実験の充実が課題です。そのため、課題を見つけ、結果の予想をし、実験計画を立て、結果を記録し、結果を分析し、課題について考察するというプロセスを充実させることが大切です。

## 質問紙調査

主として生活に関する内容について（全国の結果と比べて）

### 特によいと思われる点

#### 小学校

- 物事を最後までやり遂げて、うれしかったと答えた児童の割合が高い。
- 家で、自分で計画を立てて勉強していると答えた児童の割合が高い。
- 家で、学校の宿題をしていると答えた児童の割合が高い。
- 家で、学校の授業の復習をしていると答えた児童の割合が高い。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると答えた児童の割合が高い。
- 今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童の割合が高い。

#### 中学校

- 家の人（兄弟姉妹除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ること答えた生徒の割合が高い。
- 家で、自分で計画を立てて勉強していると答えた生徒の割合が高い。
- 今住んでいる地域の行事に参加していると答えた生徒の割合が高い。
- 学校の規則を守っていると答えた生徒の割合が高い。

### 特に課題のみられる点

- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館に年に数回程度行くまたは全く行かないと答えた児童の割合が高い。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見ると答えた児童の割合が低い。
- 学校のきまりを守っていると答えた児童の割合が低い。
- 自分にはよいところがあること答えた生徒の割合が低い。
- 将来の夢や目標をもっていると答えた生徒の割合が低い。
- 家で、学校の宿題をしていると答えた生徒の割合が低い。
- 家で、学校の授業の復習をしていると答えた生徒の割合が低い。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見ると答えた生徒の割合が低い。
- 読書は好きですかの問いに当てはまると答えた生徒の割合が低い。

—昨年から連続して、小学校・中学校とも今住んでいる地域の行事について、多くの子どもたちが参加していると回答しています。これは、子どもたちが参加できる行事が地域で企画されているということです。地域の行事に参加し、異年齢の人と関わった経験や地域の中での自分の存在感を確認したことが、次の活動への参加意欲や自己有用感につながります。多様な体験が、子どもたちの学習を支えていると考えられ、今後も子どもたちが地域と深く関わっていくことが望まれます。

また小学校・中学校とも、家で、自分で計画を立てて勉強していると答えた児童生徒の割合が高くなっています。現在、各学校では家庭学習の手引きなどを配布して、家庭で計画を立てて学習できるように取り組んでいます。今後も、自ら学習に取り組める力の育成を図ります。

昨年度と同様に、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という問いに対して、小中学校とも、よく見ると答えた児童生徒の割合は全国平均を下回りました。社会を形成する一員として、世の中の動きや変化に興味関心を持ったり、社会の出来事に対して自分なりの考えを持ったりすることは大切なことです。

地域の行事に参加しているという良さを生かして、自ら社会に関わっていくための基礎として、世の中の動きに関心を持たせることが大切です。

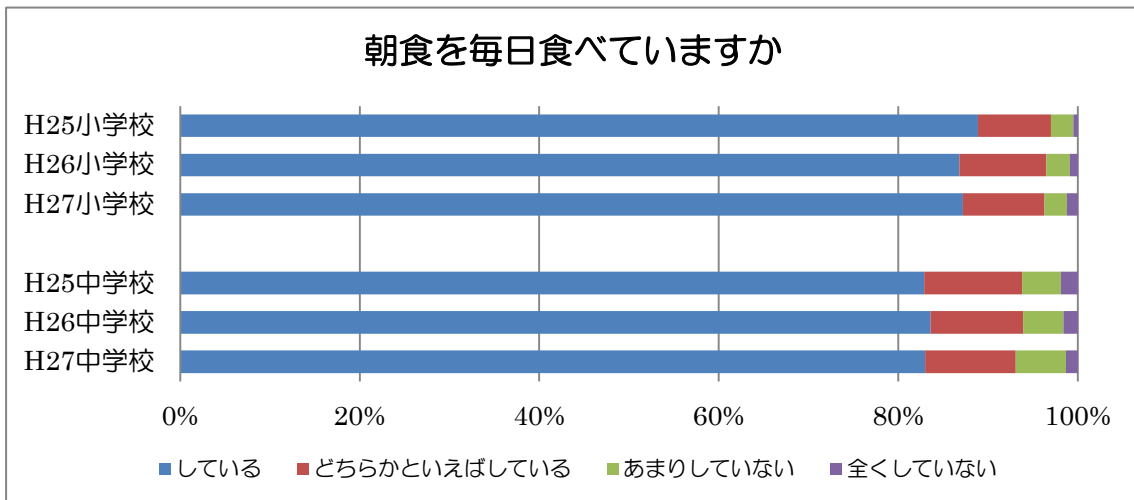
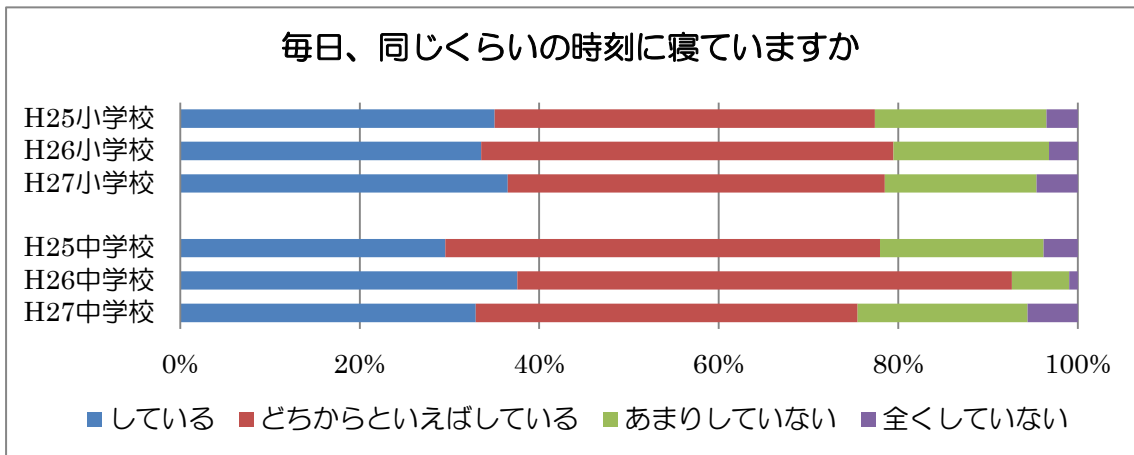
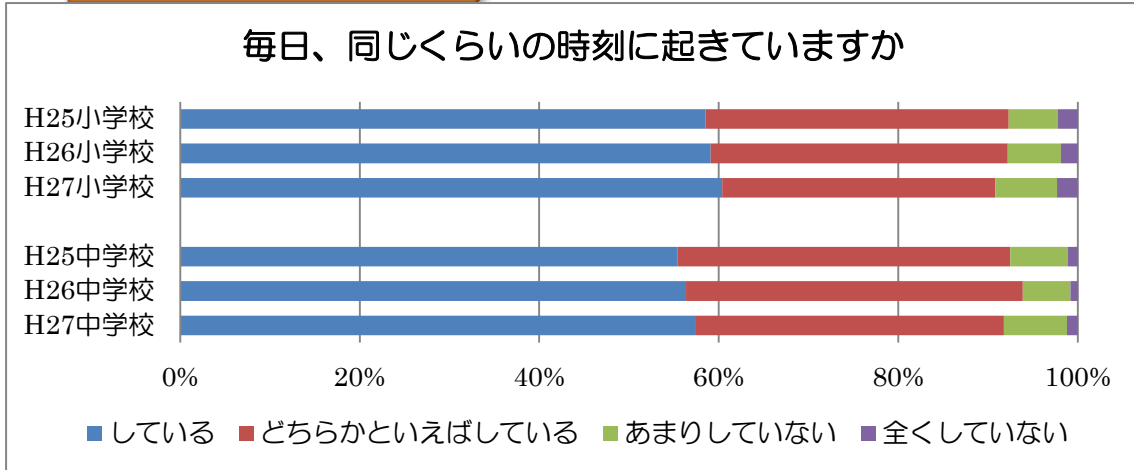
「社会や地域をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という問いに対して肯定的に答えた中学生の割合は、昨年度と比べて、若干ですが増加しています。彦根市では ESD（持続発展教育）を教育の柱として捉えています。多様なものの考え方ができるようになる中学生こそ、持続発展可能な社会を担う一員として、自分のできることを考え、行動することが求められます。学校と、家庭や地域が連携しながら、今後も ESD の充実に取り組みます。



質問紙の質問内容別

(3年間の推移)

生活習慣について





## 彦根市の取組

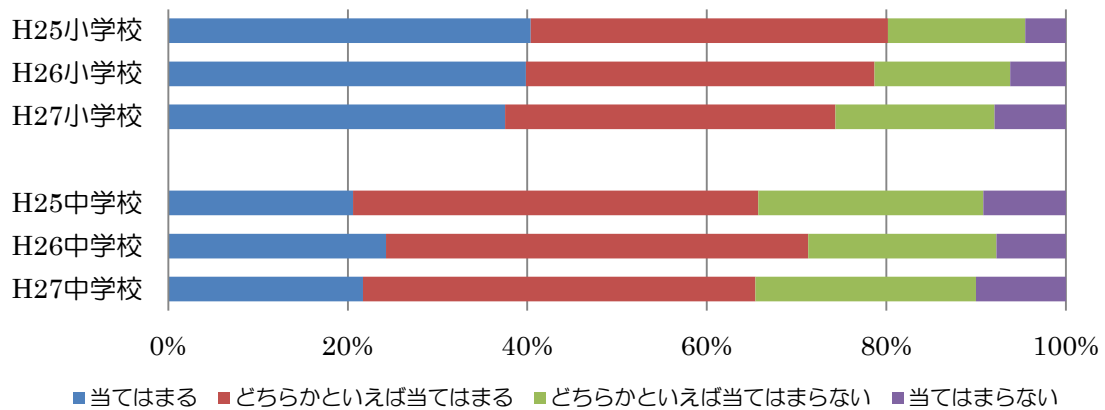
子どもたちの日々の学習を支えるものは、基本的な生活習慣（規則正しい生活）です。上のグラフからはしっかり朝食を食べて、活動するエネルギーを充電して学校に登校していることがわかります。

これは、ここ数年同様の傾向で推移しており、全国ともほぼ同様の結果です。この状態を今後も継続し、さらには向上させる必要があります。

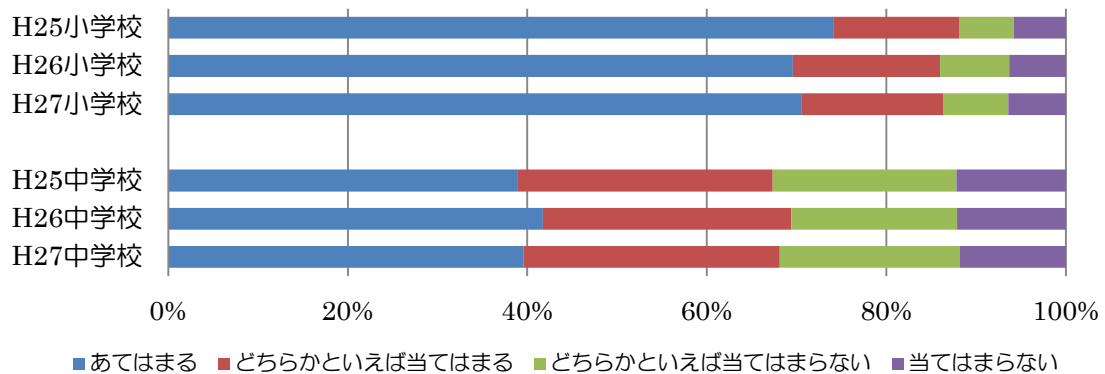
彦根市では、数年前から「ひこねっこ学びの6か条」において生活習慣の確立を呼びかけています。今後も、子どもたちの学習を支える生活習慣の確立にご家庭のご協力をお願いします。

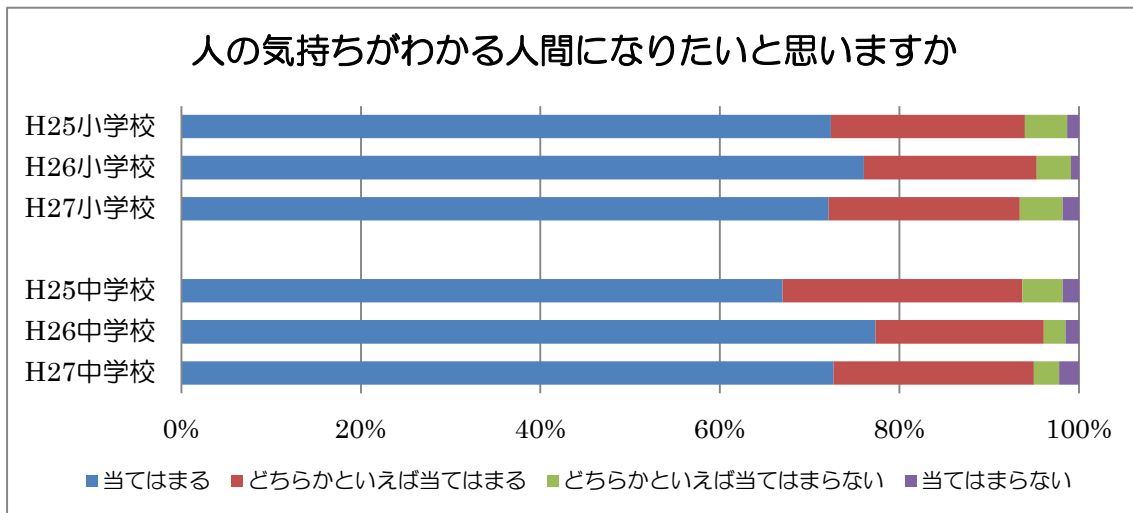
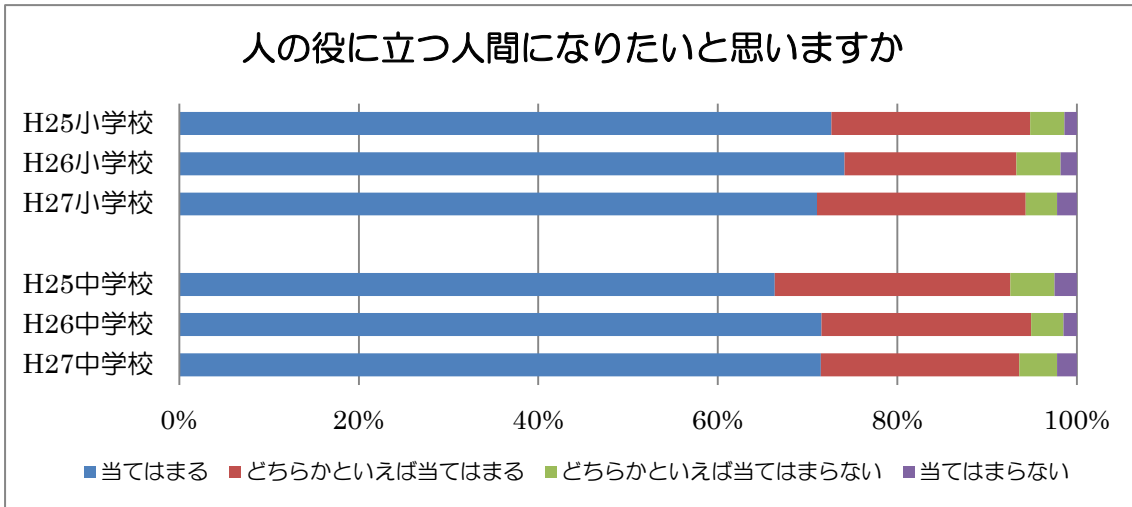
## 自尊感情や自己肯定感

### 自分にはよいところがあると思いますか



### 将来の夢や目標を持っていますか





#### 彦根市の取組

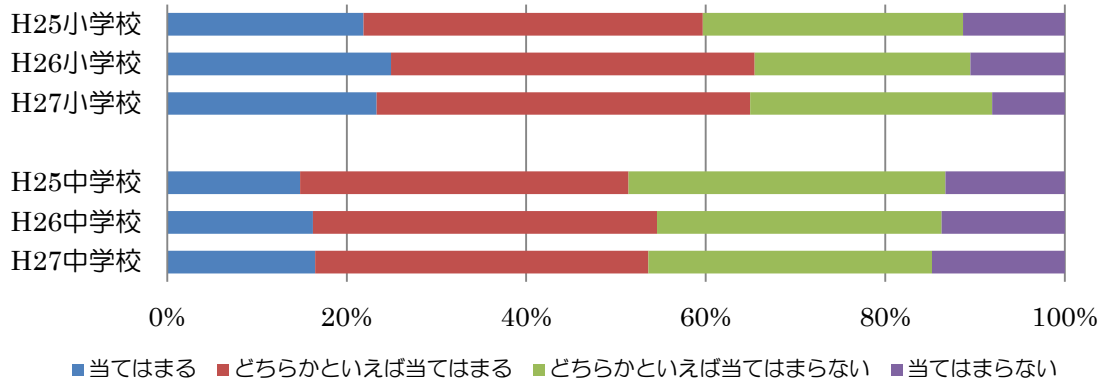
学ぶことのよさや生きることのよさを感じ、自分自身を向上させる意欲をもつためには、まずは自分自身のよさを感じたり気づいたりすることが大切です。上のグラフからは、昨年度と比べて「自分にはよいところがある」という問いと「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」という問いに当てはまると答えた児童生徒の割合が減っていることが伺えます。

自分にはよいところがあると思えたり、人の気持ちがわかるようになりたいと思えるようになるためには、まず他者から褒めてもらって自信を付けたり、自分の気持ちを他者に理解してもらおう良さを味わったりするという経験が必要です。

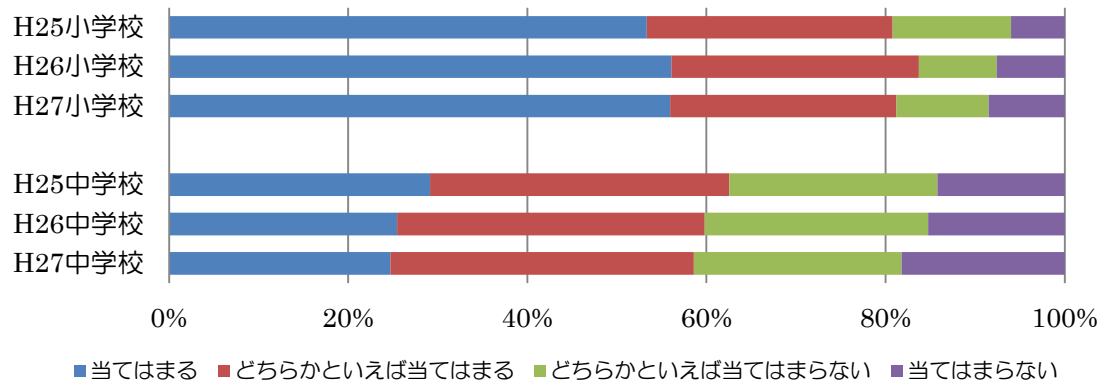
そのために、学校でも家庭・地域でも子どもたちの良さを認め励まし支えることを大切にしましょう。

社会に対する興味関心や規範意識

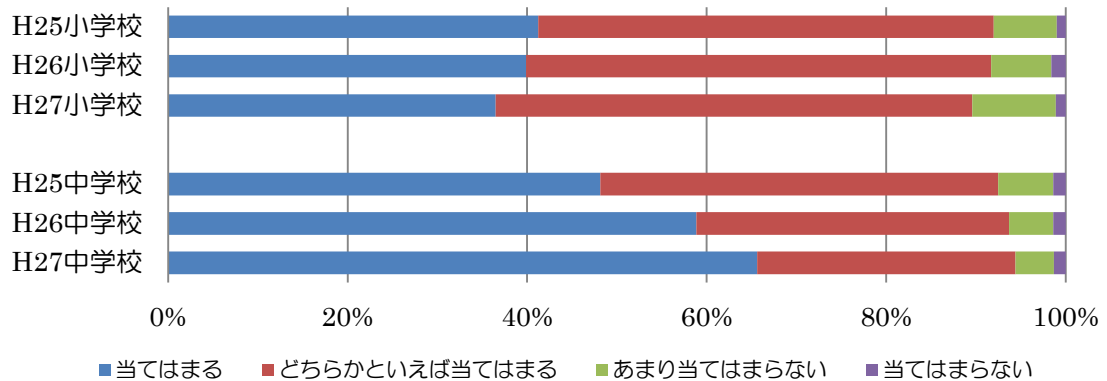
地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか

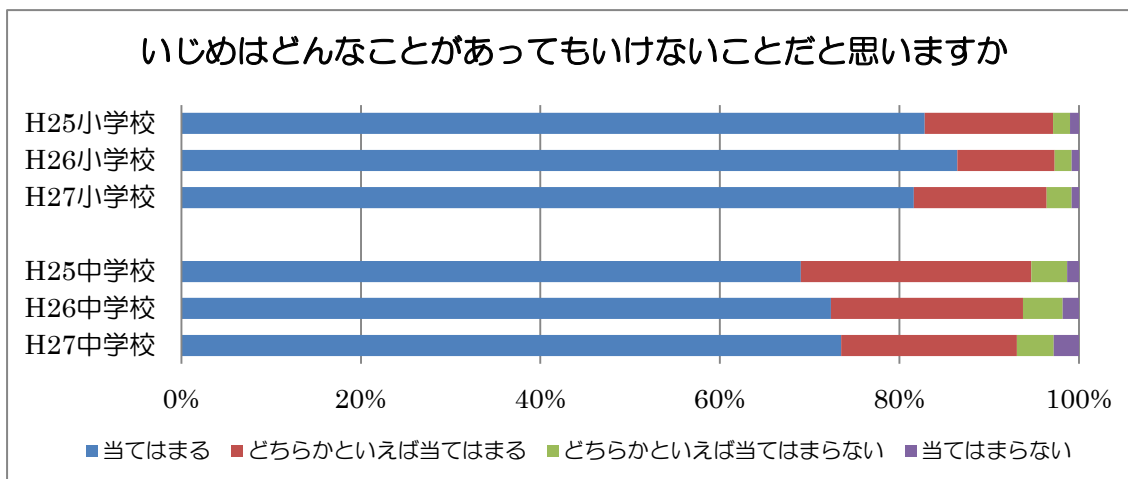


今住んでいる地域の行事に参加していますか



学校のきまりを守っていますか





### 彦根市の取組

上のグラフから、多くの子どもたちが、いじめはどんなことがあってもいけないと考えている姿がうかがえます。

彦根市では、全ての小学校、中学校でいじめ防止対策基本方針を策定し、いじめの未然防止、早期発見および適切な対応に取り組む中で、児童会や生徒会活動の取組を充実させ、いじめの防止に取り組み、子ども自身のよりよく生きようとする心情や態度を育てています。

ただ、小学校で「当てはまる」と答えた児童が昨年度より減ったことと、中学校で「当てはまらない」と答えた生徒が昨年度より増えたことが気になります。

また小学校では学校のきまりを守っていると肯定的に答えた児童が、昨年度よりやや減ったことも課題です

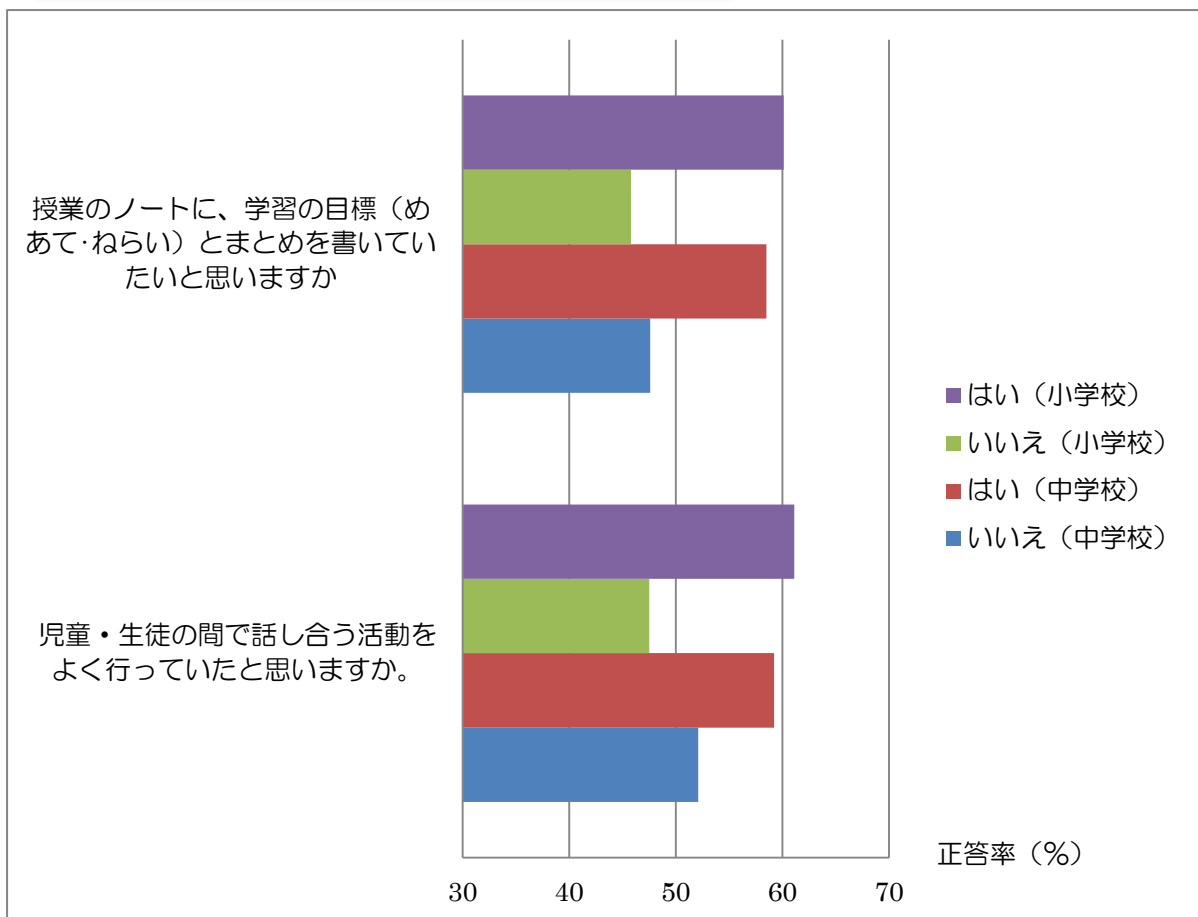
そのため、いじめをしない、させない、許さないという意識や規範意識の強化に向けた日々の指導をさらに推進します。

社会や地域に関心を持ち、参加していると肯定的に答えた児童生徒の割合が、昨年に比べて若干減りました。子どもたちは学校や家庭だけではなく、地域との関わりの中で多くのことを学び、社会に向かって育っていきます。

学校での日々の学習の中で地域との関わりを大切にし、地域の一員としての自覚が持てるよう、学習内容や方法の改善を図ります。

## 学力調査と質問紙調査とのクロス集計から

### 授業との関わりについて



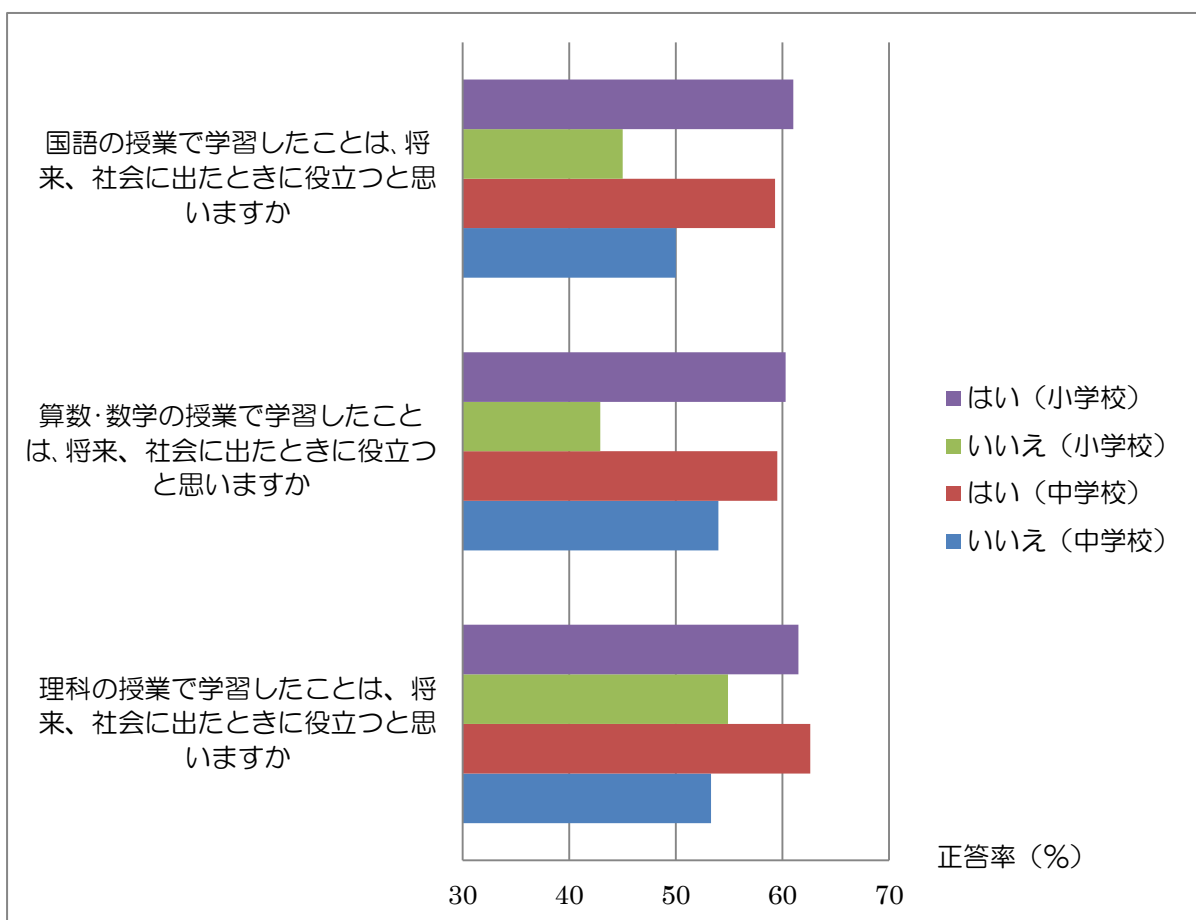
◇「授業のノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では14ポイント程度、中学校では10ポイント程度高くなりました。

◇「児童・生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べ、正答率が小学校では13ポイント程度、中学校でも7ポイント程度高くなりました。

学習の始めにその時間の目標（めあて・ねらい）を子どもたちに示し、学習後にはその時間に学習したことを振り返る活動を取り入れています。それをノートに書いていた子は正答率が高くなる傾向が見られました。その時間に何を学ぶのか、そして学習後には何を学んだのかをノートに書くことで、学習の定着が図られるとともに、家庭でも学校での学習を振り返ることができます。

また、自分の考えを広げたり深めたりして、確かなものにするためには話し合っ、他者の考え方に触れることがとても大切です。

これらのことについては、今後も学校で積極的に取り組みます。



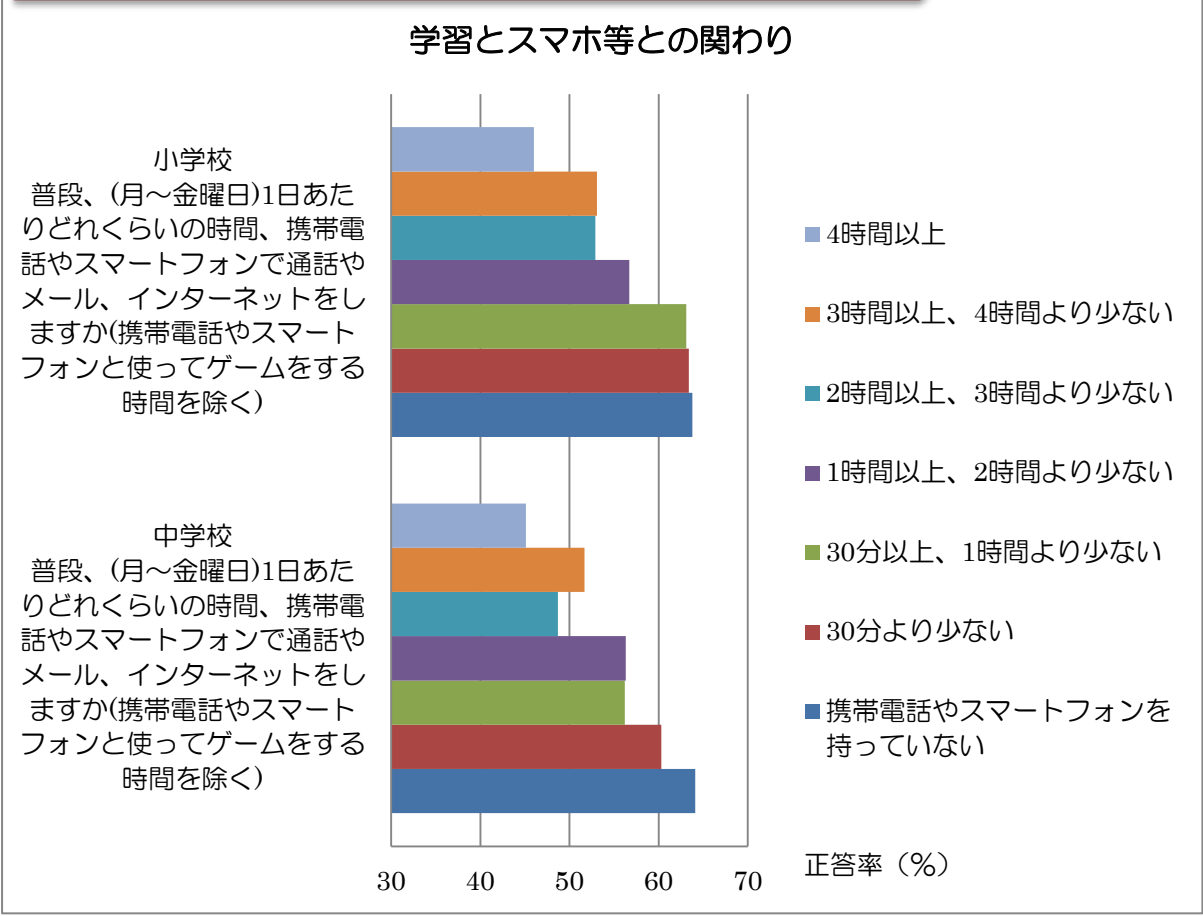
- ◇「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では16ポイント、中学校では9ポイント程度高くなりました。
- ◇「算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では17ポイント以上、中学校では5ポイント程度高くなりました。
- ◇「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では6ポイント程度、中学校では9ポイント程度高くなりました。

子どもたちが学習したことが将来役立つと考えていることと、学力の間に関係がみられました。

今学習していることが、自分の将来にとってどんな役に立つのかということを考えることは、自分の学習の目的をはっきりとさせることであり、意欲的な学習につながります。

学校においては生活と関連付けながら、学習することの意義を子どもたちに伝えていきます。ご家庭でも、目的を持った学習となるよう、子どもたちと学習する意味を考えたり話したりする時間をとってください。

学習と携帯電話・スマートフォンとの関わりについて



◇「普段、一日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」という問いに対して、小学校で「4時間以上」と答えた児童は、「30分より少ない」「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と答えた児童と比べて、15ポイント以上正答率が低くなりました。

◇同様の問いに対して、中学校で「4時間以上」と答えた生徒は、「30分より少ない」「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と答えた生徒と比べて、17ポイント程度正答率が低くなりました。

昨年度と同様、本年度も小学校、中学校とも、携帯電話やスマートフォンを使って通話やメール、インターネットをする時間と学力との間に関係がみられました。

彦根市では、普段（月曜日～金曜日）小学生の11%、中学生の33%が「2時間以上」携帯電話やメール、インターネットをしていると回答しています。

携帯電話やスマートフォン等を使ってコミュニケーションしたり、インターネットにアクセスしたりすることは、子どもたちの日常生活の一部になりつつありますが、それぞれの家庭で携帯電話やスマートフォンの使い方のルールを話し合って決めるなど、適切な使い方を考えることが大切です。



## 県「学ぶ力向上滋賀プラン」の6つの視点から

平成26年度から滋賀県では、「学ぶ力向上滋賀プラン」を策定しています。以下はそのプランにおける6つの視点から見た彦根市の現状です。

\* 質問項目点数の算出方法について

全国学力学習状況調査での児童生徒質問紙調査の質問項目について「当てはまる」4点、「どちらかといえば当てはまる」3点、「どちらかといえば当てはまらない」2点、「当てはまらない」1点とし、各回答の割合とこれらの点数をかけて合計したもので算出しています。(各項目最高400点、最低100点)

- ・「読書…」は30分以上、10～30分、10分未満、全くしないの順に、4点3点2点1点としました。
- ・「400字詰め原稿用紙…」はそう思わないから順に4点3点…としました。
- ・「インターネットに…」は、持っていない、30分より少ない、1時間より少ない、1時間以上の順に4点3点…としました。

### 視点1 一人ひとりの学ぶ力を高める

#### ○小学校

| 指標となる学習状況の児童への質問項目         | 全 国    | 滋 賀 県  | 彦 根 市  | 全国との差 |
|----------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか   | 298.6  | 296.7  | 302.1  | +3.5  |
| 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか | 256.0  | 255.7  | 256.3  | +0.3  |
| 将来の夢や目標を持っていますか            | 350.9  | 350.1  | 350.5  | -0.4  |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか        | 363.2  | 362.4  | 362.4  | -0.8  |
| 合 計                        | 1268.7 | 1264.9 | 1271.3 | +2.6  |

#### ○中学校

| 指標となる学習状況の生徒への質問項目         | 全 国    | 滋 賀 県  | 彦 根 市  | 全国との差 |
|----------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか   | 283.1  | 278.9  | 282.7  | -0.4  |
| 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか | 251.2  | 254.0  | 255.5  | +4.3  |
| 将来の夢や目標を持っていますか            | 306.7  | 298.4  | 295.3  | -11.4 |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか        | 363.4  | 359.8  | 362.5  | -0.9  |
| 合 計                        | 1204.4 | 1191.1 | 1196.0 | -8.4  |

視点2 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

○小学校

| 指標となる学習状況の児童への質問項目                     | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|--|--------|--------|--------|-------|
| 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか            | 366.1  | 366.5  | 370.5  | +4.4  |
| 自分には、よいところがあると思いますか                    | 305.2  | 305.6  | 303.8  | -1.4  |
| 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか  | 223.5  | 208.8  | 219.3  | -4.2  |
| 算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか | 319.6  | 313.3  | 319.3  | -0.3  |
| 合 計                                    | 1214.4 | 1194.2 | 1212.9 | -1.5  |

○中学校

| 指標となる学習状況の生徒への質問項目                     | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|--|--------|--------|--------|-------|
| 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか            | 365.3  | 361.3  | 363.2  | -2.1  |
| 自分には、よいところがあると思いますか                    | 284.6  | 277.6  | 277.1  | -7.5  |
| 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか  | 213.9  | 200.6  | 203.0  | -10.9 |
| 数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか | 294.4  | 285.9  | 289.4  | -5.0  |
| 合 計                                    | 1158.2 | 1125.4 | 1132.7 | -25.5 |

### 視点3 生活の中で学ぶ力を付ける

#### ○小学校

| 指標となる学習状況の児童への質問項目                            | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|---|--------|--------|--------|-------|
| 学校の授業時間以外に、普段、一日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか          | 281.8  | 275.7  | 280.0  | -1.8  |
| 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか                | 328.0  | 329.7  | 333.3  | +5.3  |
| 学級みんなで協力して、何かをやり遂げうれしかったことがありますか              | 336.2  | 333.9  | 345.3  | +9.1  |
| 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか | 284.4  | 281.0  | 289.4  | +5.0  |
| 合 計   | 1230.4 | 1220.3 | 1248.0 | +17.6 |

#### ○中学校

| 指標となる学習状況の生徒への質問項目                            | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|---|--------|--------|--------|-------|
| 学校の授業時間以外に、普段、一日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか          | 247.6  | 233.3  | 239.6  | -8.0  |
| 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか                | 311.0  | 310.2  | 314.4  | +3.4  |
| 学級みんなで協力して、何かをやり遂げうれしかったことがありますか              | 332.7  | 321.3  | 336.0  | +3.3  |
| 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか | 272.4  | 263.3  | 275.2  | +2.8  |
| 合 計   | 1163.7 | 1128.1 | 1165.2 | +1.5  |

#### 視点4 授業を改善する

##### ○小学校

| 指標となる学習状況の児童への質問項目                  | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか     | 340.1  | 334.9  | 336.9  | -3.2  |
| 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか    | 308.0  | 296.2  | 308.0  | ±0    |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 342.3  | 337.9  | 347.0  | +4.7  |
| 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 355.7  | 353.6  | 358.7  | +3.0  |
| 合 計                                 | 1346.1 | 1322.6 | 1350.6 | +4.5  |

##### ○中学校

| 指標となる学習状況の生徒への質問項目                  | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか     | 328.8  | 321.9  | 329.0  | +0.2  |
| 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか    | 269.4  | 249.5  | 275.7  | +6.3  |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 325.1  | 317.4  | 311.8  | -13.3 |
| 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 301.4  | 293.2  | 294.6  | -6.8  |
| 合 計                                 | 1224.7 | 1182.0 | 1211.1 | -13.6 |

視点5 放課後や家での時間の使い方を考える

○小学校

| 指標となる学習状況の児童への質問項目                                | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|---|--------|--------|--------|-------|
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか                               | 349.0  | 348.7  | 348.9  | -0.1  |
| 普段、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか | 297.1  | 297.7  | 297.7  | +0.6  |
| 家で、自分で計画を立てて勉強していますか                              | 281.1  | 277.2  | 290.3  | +9.2  |
| 家で、学校の授業の予習をしていますか                                | 240.7  | 236.4  | 254.7  | +14.0 |
| 合 計   | 1167.9 | 1160.0 | 1191.6 | +23.7 |

○中学校

| 指標となる学習状況の生徒への質問項目                                | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|---|--------|--------|--------|-------|
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか                               | 346.6  | 342.2  | 347.0  | +0.4  |
| 普段、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか | 211.1  | 202.5  | 207.4  | -3.7  |
| 家で、自分で計画を立てて勉強していますか                              | 250.3  | 247.5  | 261.7  | +11.4 |
| 家で、学校の授業の予習をしていますか                                | 219.6  | 221.0  | 219.3  | -0.3  |
| 合 計   | 1027.6 | 1013.2 | 1035.4 | +7.8  |

## 視点6 県全体で子どもの力を伸ばす

### ○小学校

| 指標となる学習状況の児童への質問項目              | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|---------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 今住んでいる地域の行事に参加していますか            | 289.9  | 322.3  | 329.0  | +39.1 |
| 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか     | 279.0  | 273.1  | 279.9  | +0.9  |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか | 240.4  | 230.3  | 242.8  | +2.4  |
| 人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか          | 364.3  | 360.8  | 364.1  | -0.2  |
| 合 計                             | 1173.6 | 1186.5 | 1215.8 | +42.2 |

### ○中学校

| 指標となる学習状況の生徒への質問項目              | 全 国    | 滋賀県    | 彦根市    | 全国との差 |
|---------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 今住んでいる地域の行事に参加していますか            | 235.5  | 258.0  | 265.1  | +29.6 |
| 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか     | 259.9  | 255.1  | 255.3  | -4.6  |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか | 216.0  | 210.7  | 210.5  | -5.5  |
| 人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか          | 368.4  | 364.5  | 364.7  | -3.7  |
| 合 計                             | 1079.8 | 1088.3 | 1095.6 | +15.8 |

「放課後や家での時間の使い方を考える」「県全体で子どもの力を伸ばす」視点で小・中学校とも全国値を上回り、家で自分で計画を立てて学習したり予習したりすることにしっかり取り組んでいることがうかがえます。しかし、小・中学校とも「繰り返し努力したことを認め、能力や可能性を引き出すこと」の視点で、全国値を下回りました。

本年度も実施している彦根マイ☆（スター）は、繰り返し努力することの価値を子どもたちに伝えるため、根気強い取組等を賞賛する取組です。学校では、本取組への参加を促すとともに、一人ひとりの努力を認め合う学校風土作りに努めます。

家庭や地域でも、子どもたちの努力を支え、認め励ます取組をお願いします。